

後期高齢者医療制度のお知らせ

～窓口負担割合の見直しに伴う保険証(被保険者証)の一斉更新について～

■保険証が新しくなります(黄色→橙色)

現在、ご使用の黄色の保険証の有効期限が令和4年9月30日をもって満了となるため、10月以降は使用できなくなります。

9月中に新しい保険証を郵送しますので、お手元に届きましたら橙色の保険証をご使用ください。

10月以降の窓口負担割合が引き続き1割または3割のかたも、保険証が新しくなります。

後期高齢者医療被保険者証	
有効期限	〇〇年 7月 31日
交付年月日	〇〇年 9月 1日
被保険者番号	01234567
住所	広城市道台町1丁目
氏名	広城 太郎 男
生年月日	昭和 7年 7月 7日
発給年月日	平成20年 4月 1日
有効期日	平成20年 4月 1日
一部負担金の割合	1割
被保険者番号並びに保険者の名称及び印	599111090 北海道後期高齢者医療広域連合 公印(朱)

○新しい保険証の有効期限は、令和5年7月31日です。

○紛失したときや、汚れたときは再交付しますので、医療助成係までお申し出ください。

新しい保険証は橙色です

※減額認定証(限度額適用・標準負担額減額認定証)、限度証(限度額適用認定証)は有効期限が令和5年7月31日までのため、再交付しません。

■一定以上の所得のある後期高齢者医療の被保険者の医療費の窓口負担割合が変わります

令和4年10月1日から、一定以上の所得のあるかたは、現役並み所得者(窓口負担割合3割)を除き、医療費の窓口負担割合が2割になります。窓口負担割合の変更対象となるかたは、後期高齢者医療の被保険者全体のうち約20%です。

■窓口負担割合が2割となるかたは、以下の項目にすべて該当するかたです

- 住民税課税世帯で、3割負担(現役並み所得者)ではないかた
- 同一世帯に住民税の課税所得が28万円以上の被保険者がいるかた
- 年金収入+その他の合計所得金額が、
 - ・被保険者が1人の世帯の場合、200万円以上
 - ・被保険者が2人以上の世帯の場合、合計320万円以上

■見直しの背景

令和4年度以降、団塊の世代が75歳以上となり始め、医療費の増大が見込まれています。

後期高齢者の医療費のうち、窓口負担を除いて約4割は現役世代(子や孫などの世代)の負担(支援金)となっており、今後も拡大していく見通しとなっています。

今回の窓口負担割合の見直しは、現役世代の負担を抑え、国民皆保険を未来につないでいくためのものです。

●問い合わせ

①北海道後期高齢者医療広域連合

〒060-0062 札幌市中央区南2条西14丁目 国保会館6階 ☎011-290-5601

②健康推進課医療助成係

〒075-8711 芦別市北1条東1丁目3番地 ☎22-2422